2025年4月1日

各　位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

2025年 3月度 売上速報

■ 百貨店事業

阪急阪神百貨店	売上高前年比(%)
阪急本店	96.3
阪神梅田本店	92.1
支店計	97.8
全店計	96.3

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、月次の売上速報および営業概況につきましては、当該基準等適用前の取扱高で開示しております。

○ 全店の概況

・ 下旬に差しかかるまで肌寒い日が多かったことにより、春物ﾌｧｯｼｮﾝの動きが鈍かったものの、ﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙや春のｾﾚﾓﾆｰ、ｷﾞﾌﾄ需要が堅調で国内売上は前年並みと健闘。一方免税売上は、前年高伸した反動と円高傾向の影響が重なり、件数は前年を上回るものの単価が大きくﾀﾞｳﾝしたことで前年売上に対して約2割減、加えて阪急本店、阪神本店、川西阪急の大型改装による売場面積減少影響も重なり、2021年9月以来3年6ヶ月ぶりに全店および阪急本店ともに前年売上を下回る結果となった。

○ 阪急本店の概況

・ 肌寒い気温に加えて改装に伴う売場面積減少が重なり、婦人ﾌｧｯｼｮﾝ全般の売上は前年を下回った。一方でﾌﾞﾗｲﾀﾞﾙﾆｰｽﾞによるｱｸｾｻﾘｰ、宝飾品や卒業・入学式など春のｾﾚﾓﾆｰに向けたｼﾞｬｹｯﾄ、ﾊﾟﾝﾌﾟｽ、卒業・就職祝いｷﾞﾌﾄとしての時計、ﾈｯｸﾚｽなど、春のﾓﾁﾍﾞｰｼｮﾝ、ｵｹｰｼﾞｮﾝ需要は堅調だったことで国内売上は前年を上回った。
・ 免税売上は、海外VIP顧客は前年に対して約4割増と高伸するも、一般ﾂｰﾘｽﾄの売上が約4割減となり、結果全体で約2割減と前年を下回った。
・ 100万円以上の高額品の売上高は、前年の約1割増と売上を下支え。

※過去1年間の売上高推移

前年比(%)

	2023年度	2024年度											
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
阪急本店	130.0	129.6	146.1	137.7	120.3	115.5	113.1	108.1	113.8	113.5	112.3	103.8	96.3
阪神梅田本店	107.0	105.8	108.8	109.2	105.3	109.5	81.5	106.9	79.2	109.4	90.6	92.4	92.1
支店計	111.4	110.4	112.0	116.7	107.5	105.3	105.1	100.5	103.8	101.7	101.3	98.0	97.8
全店計	119.9	119.9	129.1	127.1	114.1	111.1	105.8	105.2	105.8	108.7	106.0	100.6	96.3

■ 食品事業

イズミヤ・阪急オアシス	売上高前年比(%)
全店計	102.8

関西スーパーマーケット	売上高前年比(%)
全店計	107.4

★数値は速報値のため、確報値とは誤差が生じることがあります。

＜本件に関するお問い合わせ先＞
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社　メディアリレーション部　TEL:06-6367-3181